



2021年11月12日

各 位

会 社 名 株式会社ディ・アイ・システム
代表者名 代表取締役会長 長田 光博
(コード番号:4421 東証JASDAQ)
問合せ先 専務取締役 関亦 在明
(TEL. 03-6821-6122)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年11月13日に公表いたしました「中期経営計画(2021年9月期～2023年9月期)」で定めた数値目標を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容について

【修正後】数値目標(連結)

(単位:百万円)

	2021年9月期 実績	2022年9月期 計画	2023年9月期 計画
売 上 高	4,656	5,424	6,407
売 上 総 利 益	939	1,094	1,293
営 業 利 益	204	241	328
経 常 利 益	207	240	326
親会社株主に帰属する 当期純利益	149	161	219

【修正前】数値目標(連結) / 2020年11月13日公表

(単位:百万円)

	2021年9月期 計画	2022年9月期 計画	2023年9月期 計画
売 上 高	4,933	5,557	6,510
売 上 総 利 益	926	1,080	1,246
営 業 利 益	181	244	318
経 常 利 益	180	242	316
親会社株主に帰属する 当期純利益	121	162	213

2. 見直しの理由

当社は、2020年11月13日に公表しました中期経営計画において、企業価値の向上と将来の安定的な収益基盤を確固たるものにするため、「コンピュータ関連業務を通じて無限の夢を創造する、無限の夢を実現する組織」を基本理念に、将来のグループ売上高100億円、営業利益10億円、従業員数1,000名の達成を目指し、各種施策に取り組んでまいりました。

計画初年度の2021年9月期においては、世界的な半導体不足の影響から、IT機器の納入遅延によるネットワーク構築関連案件の一部先送りが発生いたしました。先送りとなった案件につきましては、2022年9月期での受注を見込んでおりますが、世界的な半導体不足の影響は2022年まで続くとも言われており、当社グループにおいても半導体不足は懸念事項であると認識しております。

また、国内外において未だ新型コロナウイルス感染症の収束時期を予測することは難しく、当社グループの属する情報サービス産業におきましても、顧客企業の業種によっては投資意欲の偏りが生じており、当面の間は予断を許さない状況が続くと思われまます。しかし一方で、ウィズコロナ／アフターコロナを背景とした新しい生活様式により、EC（電子商取引）ビジネスやテレワーク関連などのIT需要が増加傾向にあるとともに、社会全体の変革を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）推進が今般では浸透し始めてきており、業務効率化のためのICT・IoT投資は今後も増加していくものと見込んでおります。

以上のことを踏まえ、事業環境の変化と経営課題を総合的に勘案した結果、中期経営計画の目標数値を見直すことといたしました。従来の経営戦略を踏襲しつつ、経営基盤及び内部管理体制強化のもと、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上